

怖くない・大変じゃない WordPressサイトの維持管理

VWSオンライン勉強会 #046

Hidekazu Ishikawa@Vektor,Inc.



Vektor, Inc.
— Web Solutions —

ようこそ！はじめに



この勉強会について

運営：株式会社ベクトル

WordPressやウェブ制作にまつわる様々なテーマをとりあげて開催しているオンライン勉強会。

ご興味がある方であれば、経験や技術レベルに関係なく、どなたでもご参加いただけます。

また、ベクトル製品のアップデート情報・カスタマイズ・運用方法についてもご案内しています。

勉強会中のコメント

勉強会中のコメントは YouTube の方によりしくお願いします。
できるかぎり拾っていきたいとは思っています。

歓迎されること

- チャットでわいわい コメントしてください。
- ぜひSNSにも投稿して盛り上げてください **#wpvektor**
- **やさしい言葉使い** を心がけて、誰にとっても快適な勉強会となるようにご協力ください。

本日の内容

- ご挨拶・その他お知らせ（約10分）
- 本編
- 質疑応答（～30分程度）
- 懇親会・ユーザーフィードバック会

セッションの内容は後から振り返りできます

URLリンク情報などはコメント欄や twitter(X) のアカウントから投稿します。

https://x.com/vektor_inc

動画もシェアされますので安心してゆっくり見てください。

それでは本編スタート



この勉強会の対象

- WordPressの保守管理は大変だと思ってる人
- 「アップデートすると不具合が発生するかもしれない」 と思ってアップデートをしていない人

WordPressの保守が大変と思われる理由

- アップデートで不具合が発生する事がある
- 改ざんや脆弱性の事例が多い

実際には...

- ある程度対策されてる
- 定期バックアップとってればすぐ戻せる
- 改ざんされるのは設定がザルすぎるだけ

主なお品書き

- 最近のWordPressでの対応
- バックアップと復元
 - プラグインでのバックアップ（同一サーバー内）
 - バックアップからの復元
 - プラグインでのバックアップ（外部サーバー）
 - サーバーでのバックアップ
- 管理画面のBASIC認証
- 二段階認証

最近のWordPressでの対応



自動更新のロールバック機能

- WordPress 6.6 から
- 自動更新したテーマ・プラグインでエラーがあった場合は元のバージョンに自動的にロールバック

→ 「いつの間にか落ちていた」という事になる確率が減った

※手動アップデートの時はロールバックしてくれません。

バックアップと復元



定期バックアップは必ず設定して！

"アップデートするとトラブルが心配" と言って
アップデートしないのに、定期バックアップを設定してない

__人人人人人人人人人人人人__
> そっちの方がよっぽど心配 <
—Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^—

簡単です。後で説明します。

かなり古いバージョンからの バージョンアップが一番面倒な事になる

- バージョンアップして不具合が発生した時に、
どのバージョンで発生したのかがわかりにくい。
→ **原因調査・不具合解消が格段に面倒** になる。

バックアップがあれば...

定期やアップデート作業前のバックアップデータがあれば...

レイアウトなど表示の崩れの場合

- 管理画面からバックアップデータで元に戻せる

サイトが落ちた場合

Parse error: syntax error, unexpected token "if" in
/home/vektor/dev3.biz/public_html/demo/maintenance/wp-content/plugins/vk-blocks/vk-
blocks.php on line 26

この Web サイトに重大なエラーが発生しました。サイト管理者のメール受信箱で手順を確認してください。問題が解決しない場合は、[サポートフォーラム](#) をお試しください。

[WordPress のトラブルシューティングについてはこちらをご覧ください。](#)

1. 原因のプラグインなどの情報が表示される
2. SFTPなどでサーバーに接続してエラーのプラグインのディレクトリを削除やリネーム（プラグインが停止される）
3. 管理画面からアップデート前に復元

バックアップからすぐ戻せばいい！

バックアップとっていれば何か不具合があったら、
管理画面からポチっとやればすぐ戻せます！

長い間アップデートしていない場合の アップデート作業

- プラグイン WPvivid などを使ってテスト環境に複製
- テスト環境でアップデートを実行
- 不具合が出たらテスト環境で原因調査・対応
- テスト環境から本番にデータ移行
(または本番でアップデート実行)

バックアップにおすすめのプラグイン

- UpdraftPlus
- WPvivid
- All in One WP Migration

UpdraftPlus



The image shows the UpdraftPlus logo on an orange background, with a large yellow arrow pointing to a grid of ten icons representing various storage and migration services. The icons include Google Drive, FTP, Dropbox, Amazon S3, a server rack, an email icon, a shield, a folder, a computer monitor with a refresh icon, and a cloud.

UpdraftPlus: WP Backup & Migration Plugin

作者: [David Anderson / Team Updraft](#)

ダウンロード

<https://ja.wordpress.org/plugins/updraftplus/>

- テーマ / プラグイン / データベース など、それぞれ復元できる
→ **プラグインでのエラーならプラグインだけ戻せる**
- サーバー内とリモートストレージ（Google Driveなど）両方にバックアップをとる事ができる

UpdraftPlus Backup/Restore

[TeamUpdraft](#) | [プレミアム](#) | [ブログ](#) | [Twitter / X](#) | [サポート](#) | [メールマガジン購読](#) | [開発者のホームページ](#) | [ドキュメント](#) | [他のプラグイン](#) - バージョン: 1.25.8

バックアップ / 復元 移行 / 複製 **設定** 高度なツール プレミアム / 拡張機能

ファイルのバックアップスケジュール: Weekly 予約からのバックアップを保存しておく数: 4

データベースバックアップのスケジュール: Weekly 予約からのバックアップを保存しておく数: 4

[バックアップを実行する時間を指定する](#) へ (例えば、サーバーが日中混雑していて夜間に実行したい場合)、[増分バックアップ](#) を取る、または [古くなったバックアップを自動的に削除する](#) へは、[UpdraftPlus Premium](#) を使用します。

保存先を選択
(選択または選択解除するアイコンをタップ):

 UpdraftVault	 FTP	 S3-Compatible (Generic)
 Dropbox	 Microsoft Azure	 pCloud
 Amazon S3	 SFTP / SCP	 OpenStack (Swift)
 Rackspace Cloud Files	 Google Cloud	 DreamObjects
 Google Drive	 Backblaze	 Email
 Microsoft OneDrive	 WebDAV	

[プレミアム版では、バックアップを複数の宛先に送信できます。](#)

Google Drive

[このプライバシーポリシー](#) をご覧ください: Google Drive 認証アプリの使用について (バックアップデータは送信されません)。

Google Drive フォルダー: UpdraftPlus
[フォルダ名を変更するには UpdraftPlus Premium が必要です。](#)

Google で認証: (すでに認証済みなのですが、問題があれば再認証しアクセスを更新できます) [Google Drive のこれらの設定を削除するには、このリンクをご利用ください。](#)
[UpdraftPlus \(すべてのサイト\) の Google ドライブへのアクセスを許可しないようにするには、このリンクをクリックして Google アカウントの設定にアクセスしてください。](#)

アカウント保有者の名前: Hidekazu Ishikawa (kurudrive@gmail.com)

設定事項

- バックアップスケジュール
- バックアップ先
GoogleDriveなどリモートストレージに設定

⚠ ローカルにもバックアップを残す

上級設定:

[上級設定を表示](#) - ここを開くと追加のオプションが表示されますが、問題が起きているか好奇心がある以外には気にする必要はありません。

デバッグモード:

☐

ここをチェックすると、バックアップ処理に関する詳細な情報とメールを受信します - 何か問題が生じた場合に役立ちます。これにより、すべてのプラグインからのデバッグ出力がこの画面に表示されるようになります - これらを見ても驚かないください。

アーカイブを分割:

 MB

UpdraftPlus はこのファイルサイズを超えるとバックアップアーカイブを分割します。デフォルト値は 400 メガバイトです。Web サーバーに厳密なサイズ制限がある場合は、ある程度のマージンを残すように注意してください (例: 一部の 32 ビット サーバー/ファイル システムでは 2 GB / 2048 MB の制限)。値が大きいほど、アーカイブの作成に必要なサーバーリソースが多くなります。

ローカルバックアップを削除:

☐

バックアップ実行の終了後にサーバーから不要なバックアップ ファイルを削除するには、これにチェックを入れます (つまり、このオプションがオフになっている間は、リモート ストレージに送信されたファイルもローカルに保存されたままになり、ローカルに保存されたファイルは保持ルールに従って削除されません)。

UpdraftPlus > 設定 > 上級設定 から設定

ローカル（同一） / リモート両方にバックアップ

☰ ローカルバックアップの利点

素早く復旧できる！

リモートの場合は復元する時にサーバーからダウンロードが必要
→ 復元に時間がかかる

⚡ リモートバックアップの利点

サーバー障害でデータが消えてもリモートまでは被害が及ばない

WPvivid

 Plugin Directory • Migration, Backup, Staging – WPvivid Backup & Migration

プラグインを申請 • お気に入り ログイン

WPvivid

100% **Free** Backup & Migration Solution for Wordpress



 Migration, Backup, Staging – WPvivid Backup & Migration
作者: [wpvividplugins](https://wpvividplugins.com)

ダウンロード

<https://ja.wordpress.org/plugins/wpvivid-backuprestore/>

- サーバー内とリモートストレージ（Google Driveなど）両方にバックアップをとる事ができる
- **サイトの引っ越しが簡単にできる（データ容量制限なし）**
→ テスト環境を作るのに便利
- ※ステージング機能もあるけど独特なのでおすすめはしない

WPvividの短所

- リモートストレージのバックアップデータから管理画面経由で復元しようとする、バックアップをダウンロードするのに時間がかかってタイムアウトになる確率が高い
 - ドライブから直接zipをダウンロードして、それを管理画面からアップロードした方が早い
- 多機能すぎてちょっとわかりにくい

All in One WP Migration

- サイトまるごとエクスポート・インポートがしやすい
- 無料版だとサイトデータの容量制限がある
 - 事実上有料版じゃないと実用的ではない
 - 有料版なら本番からステージングへの引っ越し作業が一番楽

おすすめの設定例

サイトの更新頻度によりますが、頻繁に更新するなら

■ UpdraftPlus で ローカル / リモート 両方に毎日で 7 日分保存

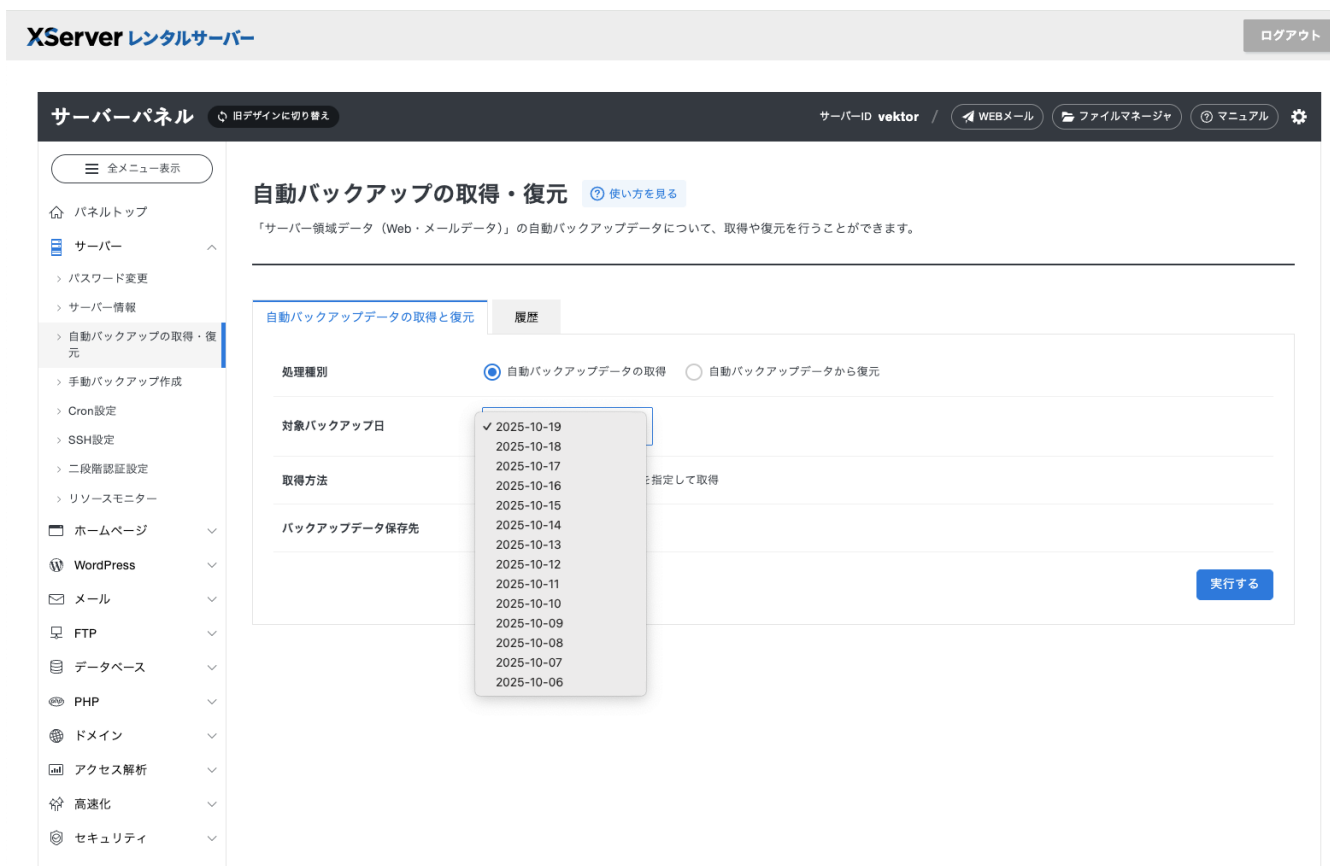
7日以上前の状態に戻したいケースがありえる場合

■ WPvivid を併用して、週一回バックアップを 4 回保存

サーバーでもバックアップはとられている

最近のレンタルサーバーはで標準でバックアップ機能がついているものがある

エックスサーバー



レンタルサーバーの領域全体を自動でバックアップされている

さくらのレンタルサーバー



ディレクトリや簡単インストールでインストールしたWordPressを指定して、ステージング環境の作成やスケジュールバックアップができる！

管理画面のセキュリティ対策



Vektor, Inc.
— Web Solutions —

脆弱性報告の大半は管理画面内の操作！

WordPressではよく脆弱性情報が配信されますが、
"管理画面から悪意のあるコードを埋め込んだりする事ができる"
という内容が大半

- 管理画面への不正なログインをブロック
- 脆弱性報告の大半は無効化できる

簡単なパスワードは使わない

簡単なパスワードは使わないでと散々言われていますが...

____人人人人人人人人人人人人人人____
> 相変わらず多い簡単なパスワード <
——Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y——

管理画面のセキュリティ対策

- 管理画面に別途表示される画像に表示された文字を入力
- ログイン試行回数を制限

これらの対策は有効で、やるに越した事はないが...
そもそも管理画面に辿り着かせない方が確実

国外IPのアクセスブロック

海外から操作する事がなければ国外IPアドレスからのアクセス制限を有効にする

エックスサーバーやさくらのレンタルサーバーなどは標準で国外IPからのアクセス制限機能がるので、海外から記事の更新などをしてないのであれば有効にしておく。

さくらのレンタルサーバ

5メンテナンス情報・障害情報を開く

sakura.ne.jp

ホーム

ドメイン/SSL

メール

Webサイト/データ

サーバステータス

セキュリティ

サーバー情報

スクリプト設定

ビジネスソリューション

メニュー一覧

サポート

スタートアップガイド

サービスサイト

よくある質問

お問い合わせ

会員メニュー

企業情報

フィードバック

Sakura Rentalserver Control Panel
Version 2. © SAKURA Internet Inc.
ライセンス情報

WAF設定ドメイン

WAF検出ログ

国外IPアドレスフィルター

サーバーログイン履歴

連携サービス

Web脆弱性診断サービス

Web改ざん検知サービス

フィルター

アクセスを制限することで、海外からの不正なアクセスに対するセキュリティを強化することができます。

有効の状態、接続許可アドレスリストに登録されたIPアドレスから接続許可の指定が行えます。

でも海外からウェブサイトが閲覧できなくなるものではありません。詳しい動作内容は[サポートサイト](#)をご覧ください。

アクセス制限が「有効」です。

国外IPアドレスから対象機能へアクセスが必要な方は制限を「無効」にしてください。

アクセス制限

☒ 有効 (制限する) ☐ 無効 (制限しない)

☒ 管理画面の制限を有効にする

海外からのWordPress/Movable Type/その他管理系ツールの管理ログイン画面へのアクセスを拒否します。

☒ コメント・フォームの制限を有効にする

海外からのコメント投稿やフォーム投稿画面へのアクセスを拒否しスパム送信をブロックします。

☒ APIの制限を有効にする

海外からのWordPress/Movable Typeの遠隔操作作用 (XML-RPC) フォームへのアクセスを拒否します。

ウェブアクセスのうち、制限が有効になっているもののみ制限します。

その他ページへのアクセスは制限されません。

制限の対象となるファイル・ディレクトリについての詳細は[サポートサイト](#)をご確認ください。

管理画面のBASIC認証

ログイン画面と /wp-admin/ ディレクトリにBASIC認証を追加

Botなどはログイン画面に対して突破処理をするので、
サーバーには負荷がかかったりもする。

→ BASIC認証でログイン画面自体に辿り着けなくする方が効果大

BASIC認証の設定

↓ で解説してあります。

<https://www.vektor-inc.co.jp/post/basic-auth/>

2 段階認証

BASIC認証も突破される可能性が0ではないので、
念のためログインを2段階認証に設定しておくのがおすすめ。



Two-Factor

作者: WordPress.org



ダウンロード

<https://ja.wordpress.org/plugins/two-factor/>

各ユーザーの編集画面から設定

ダッシュボード

投稿

CTA

メディア

固定ページ

すべての再利用ブロックを管理

コメント

VK Block Patterns

お問い合わせ

外観

プラグイン

ユーザー

ユーザー一覧

ユーザーを追加

プロフィール

ツール

設定

カスタム投稿タイプ設定

WPvivid Backup

UpdraftPlus

ExUnit

メニューを閉じる

Two-Factor 設定

メインの認証方法が使用できなくなった場合にロックアウトされないよう、メインの認証方法の他に、リカバリコードなどのバックアップとなる認証方法も設定してください。

メインとなる2要素認証とバックアップとなる方法を設定することで、メインとなる方法へのアクセスを失った時にロックアウトを避けることができます。おすすめと表記されている方法は、より安全で使いやすいです。
REST API と XML-RPC の認証ではアプリケーションパスワード (上にあります) を通常のパスワードの代わりに使用する必要があります。

認証アプリ

☐ 認証アプリを有効化 おすすめ

QR コードをスキャンするか、手動で下にある共有シークレットキーを認証アプリにコピーします:



共有シークレットキー:

認証アプリによって生成されたコードを入力してセットアップを完了します:

認証コード:

リカバリコード

☐ リカバリコードを有効化 おすすめ

残りの未使用コード数は0件です。それぞれのリカバリコードは1回のみ使用できます。

This invalidates all currently stored codes.

メール

☒ メールを有効化

認証コードが @vektor-inc.co.jp に送信されます。

☐ FIDO U2F 秘密鍵を有効化

とりあえず

- パスワードは絶対複雑なものにする
- 定期バックアップ
- 管理画面のBASIC認証
- 2段階認証

を設定しておけばそんなに大変な事になる事はない。

次回

2025/11/20(木) 21:00 ~ 22:30

ゼロから覚えたくないフルサイト編集

<https://vektor.connpass.com/event/373620/>

ありがとうございましたん